

木の花は、濃きも薄きも紅梅。桜は、花びら大きく、葉の色濃きが、枝細くて咲きたる。藤の花は、しなび長く、色濃く咲きたる。こつめだつ。

四月のつこもり、五月のついたちのころほひ、橘の葉の濃く青きに、花のいと白く咲きたるが、雨うち降りたるつとめてなむは、世になつたぬるなまじをかし。花の中より、しがねの玉かと思えし、こみこつぬれせかに見えたるなど、朝露にぬれたるあやほりけの桜に劣らず。ほひのちのよすがといへく思へばこそ、なほわらの言ふべしもあらず。

梨の花、ちりすたまじきものにして、近うもてなはず、はかなき文つけなどだにせず。愛敬おくれたる人の顔などを見ては、たゞひに言ふも、げに、葉の色よりはじめて、あはいなく見ゆるを、唐土には限りなきものに、文にも作る、なほわらひもせむらむむと、せめて見れば、花びらの端に、をかつておほひの、心まとなつたためね。楊貴妃の、帝の御使ひに会ひて、泣きける顔に似せて、「梨花一枝、春、雨を帯びたり。」など言ひたるは、おほるけならじと思ふに、なほこみこつぬれたまじは、たぐひあらじとおほえたり。

(改ページ)

桐の木の花、紫に咲きたるは、なほをかじきに、葉の広じりちまぞ、したつちただけれど、異木ともとひし言ふべきにもあらず。唐土に、つじよじき名つきたる鳥の、えりてこれにのみぬるらむ、いみじうじとなり。まいて琴に作りて、なまなまなる音の出で来るなど、をかじなど世の音に言ふべくやはある。いみじうそめでたけれ。

木のちまにけなれど、棟の花、いとをかじ。かれがれに、ちまじりに咲きて、必ず五月五日にあふも、をかじ。

問題 全ての問いについて、問題に特に指定がなくとも極力漢字で答え、助動詞、助詞、反語、敬語を正確に訳すこと。(本番ではその必要はない。)

尚、問題が「抜き出せ」と指定していても、本文が首便の場合には元の形に直して回答すること。

一傍線部「木の花」とるが、これに対応する語は何か、答えよ。

一傍線部「濃きも薄きも紅梅」を、述語を補って口語訳せよ。

一傍線部「花びら大きく」咲きたる」を、述語を補って口語訳せよ。

四傍線部「しなび長く、色濃く咲きたる、いとめでたし」を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、その文法的意味を答えよ。

五傍線部「四月のころほひ」を口語訳せよ。また、「つこもり」の意味を答えよ。

六傍線部「葉の濃く青きに」咲きたるが、を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、その文法的意味を答えよ。

七傍線部「雨うち降りたるつとめてなむ」を口語訳し、助動詞を抜き出してその文法的意味を答えよ。また、「つとめて」の意味を答えよ。

八傍線部「世になつ心あるなまにをかじ」を口語訳せよ。また、形容詞を全て抜き出し、それぞれ意味を答えよ。

九傍線部「しがねの玉かと思えて」を、主語を明らかにした上で口語訳せよ。

十傍線部「いみじうあやちかに」桜に劣らず」を口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、それぞれの文法的意味を答えよ。

十一傍線部「ほひのちのよすがとち入思へばこそ」を口語訳せよ。また、「こそ」の後に省略されている語を答えよ。

十二傍線部「なほわらひに言ふべしもあらず」を口語訳し、助動詞を抜き出して文法的意味を答えよ。

十三傍線部「なほわらむこぎ」を口語訳せよ。

十四傍線部「近うもてなはず」はかなき文」だにせず」愛敬おくれたる人」たゞひに言ふも」及び「け」の意味を答えよ。

十五傍線部「葉の色よりはじめて、あはいなく見ゆるを」を口語訳せよ。

十六傍線部「唐土には限りなきものに」を口語訳せよ。また、「唐土」の読みを答えよ。

十七傍線部「文にも作る、せめて見れば」を口語訳せよ。また、「文」とは何が、漢字1字で答えよ。

十八傍線部「をかじにほひ」の意味を答えよ。

十九傍線部「心まとなつたためれ」を口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、それぞれの文法的意味を答えよ。

二十傍線部「帝」とあるが、具体的にはどの皇帝か。文脈から推測して、皇帝の名、時代、治世の名称、及び晩年に起つた乱を答えよ。

二一傍線部「梨花一枝、春、雨を帯びたり。」とあるが、「この言葉は」からの引用か。書物の名、及びその作者名を漢字で答えよ。

二二傍線部「おほるけならじと思ふに」を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、その文法的意味を答えよ。

二三傍線部「なほいみじうとおほえたり」を口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、それぞれの文法的意味を答えよ。

二四傍線部「したつちただけれど」を口語訳せよ。品詞分解をして、文法的に説明せよ。筆者は何にしているか、答へよ。

二五傍線部「異木ともとあらず」を口語訳せよ。また、形容詞及び助動詞を抜き出し、意味(助動詞は文法的意味)を、それぞれ答えよ。

二六傍線部「つじよじき名つきたる鳥」を口語訳せよ。また、ぶつちやけた話でな鳥なのか、その鳥の名を漢字で答えよ。

二七傍線部「えりてこれに」心となり」を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、その文法的意味を答えよ。

二八傍線部「をかじなどある」を口語訳せよ。助動詞を抜き出し文法的意味を答えよ。「あ」が「の」活用形となっている理由を説明せよ。

二九傍線部「木のちまにへげなれど」及び「かれがれに」を口語訳せよ。

三十文中の第四段落以降(「桐の木の花…」以降)から、掛詞となっている語句を指摘して古典チェックに説明せよ。

